



すずらん



便り

社会福祉法人 北友会

〒310-0903

水戸市堀町字北ノ前95番地

TEL 029-257-9555

FAX 029-257-9666

特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑

ショートステイ・デイサービス

ケアプランセンター

http://www.watarisuzuranen.jp/ 編集者：石井 利明



嵐吹きて 雲は落ち
時雨降りて 日は暮れぬ
若し燈火の もれ来ずば
それと分かじ 野辺の里

さて、十一月の唱歌・童謡クラブでは赤とんぼ、野菊、紅葉など晩秋から初冬にかけての曲を皆様といっしょに合唱しました。なかでもこの時季に



鳥啼きて 木に高く
人は畑に 麦を踏む
げに小春日の のどけしや
かえり咲きの 花も見ゆ

一方童謡で人気の歌は「叱られて」。この曲は、少々淋しいエレジーではありますが、街灯など照明設備の少なかった時代に育った皆様方にはより共感の持てる叙情歌となっております。涙ぐんだりする方もおられます。思い出が甦り心の安らぎが感じられる唱歌や童謡、ぜひ皆様も一緒に歌ってみませんか。 十一月十四日 唱歌クラブ

心に響く思い出の歌...



すずらん苑の唱歌・童謡クラブ

幼いころ口ずさんだ童謡や、学校で習った唱歌は、高齢者のレクリエーションには欠かせません。それらの名曲の多くは明治・大正時代に作られ、社会到来前の人間と自然とが心豊かに共生する世界観が表現されており、参加者の皆様は、懐かしい調べに心が安らぐと楽しんでおられます。

また、唱歌や童謡は学童の情操教育などを目的に生まれてきましたが、その優れた文学性や作詞家の歌詞に込められた自然観等は、年を重ねてから初めて理解できるものもあり、その奥深さにあらためて胸を打たれる作品も数多くみられます。

さ霧消ゆる 湊江の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の 声はして
いまだ覚めず 岸の家



おすすめめの唱歌は「冬景色」。この歌は国語学者の金田一春彦氏が絶賛した名曲で、早朝の漁港、昼の田園、夕暮れの村落を季節感豊かに表現してあり、まるで三幅の日本画を眼前にしているような優れた叙景歌となっております。幼少時代を大正から昭和の初期にかけて過ごされたご利用者様にとっては若かりし頃の故郷の原風景を思い起こすノスタルジックな歌となっております、皆様の瞳の輝きも一層増しました。





すずらん苑 芋煮会

今年も『すずらん芋煮会』を開催。最初に「輪を広げる会」の皆様による、ダンス・よさこい、おかめひよつとこ踊りなどの演技を楽しんだ後は、今年の恵みに感謝しながら芋煮をいただきました。十一月二十一日

十二月の予定

- ◎ クリスマス会
- ◎ もちつき大会
- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 書道教室
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ すずらん喫茶
- ◎ 年越し蕎麦打ち
- ◎ みなみ会歌謡ショー



今よりは
ふる里人の
音もあらし
嶺にも峯にも
積る白雪
良寛



大洗磯前神社にドライブ

ひまわり・チューリップユニットでは大洗磯前神社方面にドライブに



行って来ました。境内には美しい菊の花も展示してあり楽しい一日となりました。十一月十四日

デイサービスでおやつ作り



デイサービスでは毎月手作りおやつを開催しております。



フルーツロールケーキや、さつま芋とりんごの焼タルトなど男性陣も頑張って料理して下さいました。

(二十八日・二十九日)

デイサービス運営推進会議



地域住民代表者・ご家族様、ご利用者様と水戸市介護保険課の職員を交えて「運営推進会議」を行いました。当苑での活動報告の後、より良いサービスに向けて参加者の皆様からご意見をお伺いしました。十一月九日

ご寄贈

- 小橋 敦夫 様 (鑑兜セット)
- 木内 弘美 様 (ツルバカー)
- 小池 洋子 様 (カバンパド)

ありがとうございました

いつくしみ深き

作詞 スクライヴエン
作曲 コンヴァース



いつくしみ深き 友なるイエスは
罪とが憂いを とり去りたもう
こころの嘆きを 包まず述べて
などかは下ろさぬ 負える重荷を

いつくしみ深き 友なるイエスは
われらの弱きを 知りて憐れむ
悩みかなしみに 沈めるときも
祈りにこたえて 慰めたまわん

いつくしみ深き 友なるイエスは
変わらぬ愛もて 導きたもう
世の友われらを 棄て去るときも
祈りにこたえて 労りたまわん

